

令和2年度進行管理・評価シート
鶴岡市歴史的風致維持向上計画（平成25年11月22日認定）
（最終変更令和3年3月22日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の円滑な推進	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 鶴岡公園園内整備事業	3
2 鶴岡公園内堀周辺道路修景事業	4
3 歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業	5
4 門前町歴史まちづくり活動支援事業	6
5 宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業	7
6 鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業	8
7 松ヶ岡振興支援事業	9
8 宿坊街道路・空き地修景整備事業	10
9 蚕室群活用整備事業	11
10 シルクタウンプロジェクト推進事業	12
11 歴史まちづくり人材育成事業	13
12 城下町つるおかりブランディングプロジェクト推進事業	14
13 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業	15
14 史跡内及び周辺修景整備事業	16
15 民俗芸能保存伝承支援事業	17
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定	18
2 文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業	19
3 文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力	20
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 庄内の桜 松ヶ岡開墾場ほか16件	21
⑥その他(様式1-6)		
1 歴史的風致維持向上計画事業実施の効果	22
2 歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応	23

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	24
--------------------------------	-------	----

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
計画の円滑な推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

- 計画の進捗管理・評価、計画推進に係る事項・計画変更の協議は鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会を中心に行う。
- 建設部都市計画課、教育委員会社会教育課、羽黒庁舎総務企画課及び企画部政策企画課を事務局とし、連絡調整を行い計画の円滑な推進に努める。
- 必要に応じて鶴岡市文化財保護審議会及び鶴岡市景観審議会などに計画の実施状況を報告し意見を求める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域が3地区(鶴岡公園とその周辺地区、羽黒手向地区、羽黒松ヶ岡地区)ある本市では、それぞれの地域において整備や振興を支援する担当課(鶴岡公園とその周辺地区:建設部都市計画課、羽黒手向地区:羽黒庁舎総務企画課、羽黒松ヶ岡地区:企画部政策企画課)と文化財事業を所管する教育委員会社会教育課が連携し、3地区で持ち回りのシンポジウムの開催を行うなど計画の進行管理と歴史的まちづくりを通じた本市の魅力増進につとめている。連携に基づく会議等の開催は、令和3年2月16日に副市長をトップとする庁内関係部課長による庁内策定会議、同3月17日には鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会(法定協議会)を開催しているほか、都度事務担当者の打合せを実施しながら計画の円滑な進行管理を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

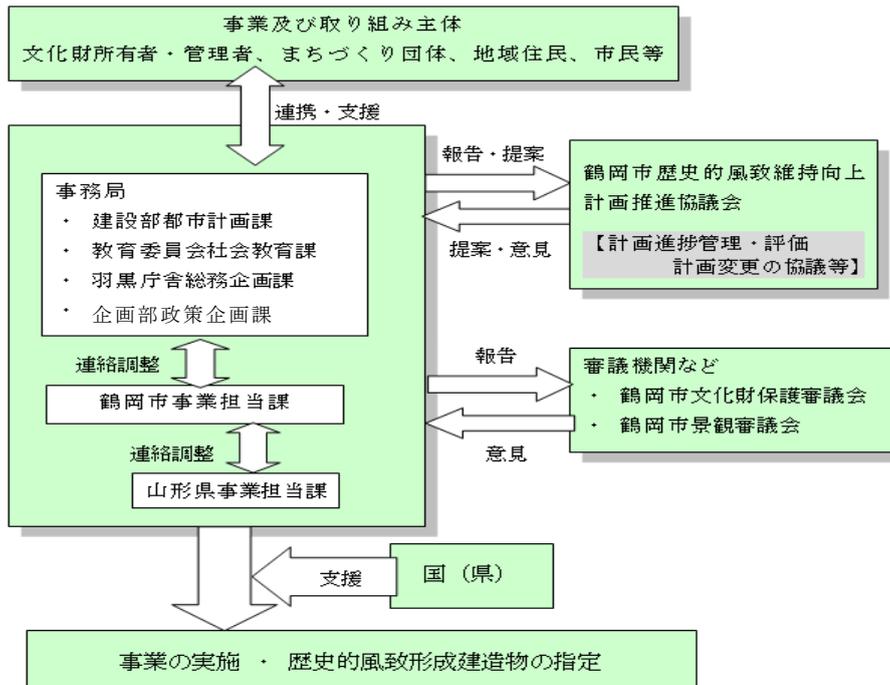
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和2年度庁内策定会議(令和3年2月16日)
 ①令和2年度の事業報告について
 ②令和3年度事業計画について

令和2年度鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会
 (令和3年3月17日)
 ①令和2年度の事業報告について
 ②令和3年度事業計画について



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和2年度
景観計画の活用		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
景観計画地域別方針との適合
大規模建築物等の景観に関する制限

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成20年5月に策定した「鶴岡市景観計画」に基づき、良好な景観形成のための規制誘導を実施した。
 ・令和2年度には、景観計画区域内における大規模建築行為について市全域で22件の届出を受付、良好な景観形成のために意匠や色彩に関する指導を実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

令和2年度における大規模建築物の届出

景観計画区域内における行為の届出

届出件数 22件

届出行為地域別内訳 鶴岡16件、藤島0件、羽黒1件、櫛引1件、朝日0件、温海4件

届出対象物内訳 建築物18件、工作物4件、両方0件

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園園内整備事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 鶴岡公園整備基本計画に基づいた北ブロック(歴史文化ゾーン)整備計画書に基づいた事業を実施する。園路・参道・公園入り口の整備(舗装化、石貼りなどユニバーサルデザイン化)、城址公園内トイレ改修工事、禽舎正面広場の整備および老木樹木の再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鶴岡公園整備基本計画に基づき、旧鶴ヶ岡城二ノ丸に位置し猿舎、禽舎があった箇所を、城址公園のシンボルとして風格のある、市民や観光客がくつろぎ賑わう広場として整備を行うため、鶴岡公園環境整備懇談会、市民ワークショップを開催、正面広場整備計画を策定した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



第1回ワークショップ現地視察



第1回ワークショップ



第2回ワークショップ



完成イメージ図

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
鶴岡公園内堀周辺道路修景事業 (市道鶴岡公園新形町線歩行者空間整備事業) 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成29年度 ~ 令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 ワークショップや関係団体等との意見交換を実施し、鶴ヶ岡城の内堀周辺道路である市道鶴岡公園新形町線の修景整備について、整備のあり方を検討する。検討内容を踏まえた修景整備を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市道鶴岡公園新形町線(内堀周辺道路)において修景整備前段の準備工事として、事業区間全線の道路側溝入替L=552mおよび既設舗装更新A=4060m²、車止め基礎設置N=104基を行った。
(令和3年度に 路面着色、車止め本体整備、街路灯整備、ベンチ整備等を行い、本事業完了の予定)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和2年度】

○事業区間全線の「道路側溝」「As舗装」「車止め基礎」の整備



評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物保存活用整備補助事業 【鶴岡公園とその周辺地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度 ~ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物について公開による保存活用を図るために所有者が行う外観修景、内装整備等の事業について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2年度は、歴史的風致形成建造物に指定されている、国登録有形文化財「風間家旧宅(丙申堂)表門・西側板塀」の以下の工事について助成を行った。
 ・表門 ⇒ 屋根、瓦、飾り金具の修理工事
 ・西側板塀 ⇒ 板塀本体、支柱、笠木など全体的な修理・外観修景に係る工事

鶴岡公園とその周辺地区における主要な文化財の外構の修景が行われることで、街並みの美化が図られた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

補助事例

令和2年度: 風間家旧宅(丙申堂)表門・西側板塀 (国登録有形文化財)



西側板塀 施工中



表門 施工中



西側板塀 完成後



表門 完成後

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
<p>門前町歴史まちづくり活動支援事業 【羽黒手向地区】</p>			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～令和4年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	地域の住民や団体等で構成する協議会が主体となつて行うまちづくり協議会やまちあるきマップの作成、住民合意形成のためのワークショップ、シンポジウム開催等の活動を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>平成26年度より、出羽三山魅力発信協議会事業として講演会や景観整備活動等を行い、手向地区の魅力発信や歴史まちづくり活動に関する住民の意識向上を行っている。</p> <p>令和2年度は、コロナ禍のため事業内容を再検討し、江戸時代の宿坊街の町割り調査や、令和2年3月に完成した手向地区地域ビジョン実現に向けた講演会の開催、令和3年3月完成の随神門前ポケットパークに設置する提灯製作を実施し、自らの地域の歴史・文化を見直すきっかけづくりと継承意欲の醸成、宿坊街としての魅力向上が図られた。</p> <p>また、SNSを活用した情報発信に力を入れ、市内外に出羽三山を中心とした手向地区の魅力を広く発信した。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p>○出羽三山魅力発信協議会事業</p> <p>1. 「手向地区宿坊街歴史再発見プロジェクト」(R2.11.2竹の露合資会社聞き取り調査)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>宿坊から移設された酒蔵</p> </div> </div> <p>2. 修景整備・賑わいづくりボランティア事業(R3.3.12 提灯製作)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  <p>提灯設置場所</p> </div> </div> <p style="text-align: center;">製作風景写真</p> <p>3. 令和2年度出羽三山魅力発信協議会講演会</p> <div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 2;"> <p>○日時 令和3年3月11日(木) 午後6時～午後8時</p> <p>○内容 持続可能な地域づくりに観光をいかすには ～世界で進むサステナブル・ツーリズムの取り組み～</p> <p>講師: 高山 傑氏 観光庁日本版持続可能な観光ガイドラインアドバイザー(他)</p> <p>○参加人数 36人</p> </div> </div>			

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
		現在の状況
宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業 【羽黒手向地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 宿坊街における沿道部分の外構空間等は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素である。修景を行うことで統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用し6件の修景整備が実施され、さらにまちなみの連続性が高まり、良好な景観が形成された。(平成29年度6件、平成30年度7件、令和元年度6件、4年間合計25件整備)また、本修景整備の申請内容等の審査・検討のため、「手向まちなみ委員会」を5回開催した。

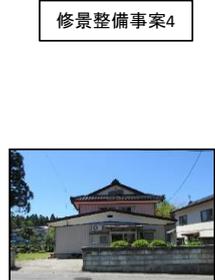
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

1. 「鶴岡市門前町手向地区まちなみ景観形成事業補助金」を活用した修景整備
 門前町手向地区固有の歴史あるまちなみ保全を目的に、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構など、宿坊街の佇まいを感じさせる特徴的な構造物について、統一感のある修景整備を行う住民に対して、費用の一部を補助した。

- 池ノ仲集落 2件(宿坊2件)…住居・車庫・門の外観整備及び塗替え
- 桜小路集落 1件(宿坊1件)…住居・車庫の外壁塗替え、宿坊看板の整備
- 下長屋集落 1件(住宅1件)…住居・車庫の外壁塗替え
- 上長屋集落 1件(住宅1件)…住居兼店舗の外観整備及び塗替え
- 入江町集落 1件(住宅1件)…車庫の外壁整備



2. 「手向まちなみ委員会」の開催
 ○期 日 令和2年7月17日(金)
 8月 6日(木)※建築関係者のみ
 10月27日(火)
 11月24日(火)※書面開催
 令和3年3月18日(木)
 ○内 容 申請内容等の審査・検討



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
鶴岡市歴史的風致維持向上計画啓発事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 鶴岡市の歴史まちづくりに関する講演とシンポジウム、重点区域のまち歩き等を組み合わせた事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市民と協同行う歴史まちづくりの推進と住民意識の向上を図るため、令和3年に開墾150年を迎える松ヶ岡開墾場、令和4年の酒井家庄内入部400年記念事業に先駆けた取組みとして来訪者の回遊性を高める周辺環境整備及び松ヶ岡開墾場の景観について考える意見交換会を実施した。
整備した通路を利用してマルシェが開催されるなど、回遊性の向上と賑わいの創出が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

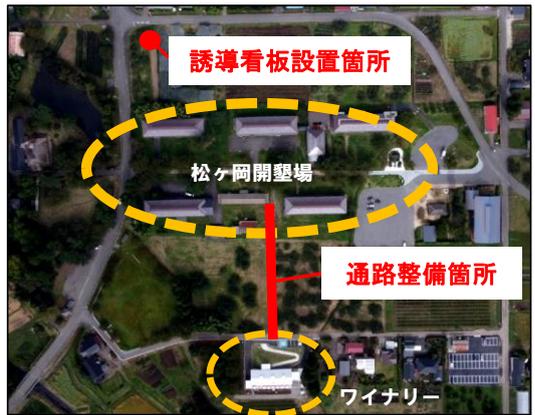
状況を示す写真や資料等



通路整備前



通路整備後



位置図



誘導看板設置場所検討



誘導看板設置後



R2.10.2通路整備WS



R2.10.6 景観に関する意見交換



R2.10.13 通路整備WS



整備した通路を利用して開催されたマルシェ

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
松ヶ岡振興支援事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡地域では明治初期に行われた開墾当時の形態を継続し、施設や開墾当初の趣旨目的、実践の多くの部分が今も守られている。これらを背景としたビジョンを策定し、将来的にソフト活用と連動して史跡内建造物を有効活用する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松ヶ岡地域住民と場内事業者が中心となり策定した「松ヶ岡地域振興ビジョン」(H26年度～R3年度)、また、日本遺産事業の一環として住民ワークショップを通して立案した日本遺産ブランド戦略「松ヶ岡クラフトPARK構想」(H30年度)に基づく具体的なソフト事業として、コロナ禍において三密を回避しながら、松ヶ岡の風致や景観を活かした体験イベント等を実施し魅力発信に取り組んだ。併せて、地域の若手との連携強化を進め、交流人口の拡大が図れた。
参考:1番蚕室松ヶ岡開墾記念館の入館者数 H25年度 2,400人→R元年度 4,700人→R2年度1,573人

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

運営体制構築に向けて、地域プレイヤーを巻き込みながら、収益性、組織化などの強化を図る。また、令和3年度は「史跡内及び周辺修景整備事業」で開墾場周辺の回遊性を高める通路・多目的広場を整備する予定。

状況を示す写真や資料等

○イベントの開催

- ・松ヶ岡茶復活プロジェクト 茶摘み、紅茶づくり体験(7/18-19)
- ・松ヶ岡本陣での松ヶ岡の景観を活用したSNS・Youtube発信講座(11/7)
- ・松ヶ岡開墾場内でのフィンガーペイント体験(11/7)
- ・松ヶ岡開墾場通路整備ワークショップ(10/2、6、13)
- ・民間ワイナリーによるマルシェ(10/10-11)
- ・日本遺産ウィークin鶴岡(2/8-16)
内容:松ヶ岡開墾記念館無料開放(2/13、14)
雪灯籠設置、蚕室ライトアップ(2/11-14)



茶摘み体験



紅茶づくり体験



本陣でのSNS・Youtube発信講座



松ヶ岡開墾場内でのフィンガーペイント体験



整備した通路を利用して開催されたマルシェ(再掲)



雪灯籠設置・蚕室ライトアップ

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
宿坊街道路・空地修景整備事業 【羽黒手向地区】		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備促進事業)

計画に記載している内容 歴史的な景観に配慮した植栽、案内板やポケットパークの整備、道路美装化などを実施することで、空き地や不連続なまち並み等を解消し、統一感のある良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

羽黒山の門前通り及び手向宿坊街の玄関口に位置する空き地スペースを活用し、休憩スペースやトイレが一体となった施設を含むポケットパークを整備した。当該ポケットパークを、羽黒山随神門と手向宿坊街・いでは文化記念館等をつなぐ起点となる場所に整備することで、観光地としての利便性や街なみ景観の向上、賑わいの創出が図られる。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【令和2年度】手向幹線空地修景整備事業 羽黒山随神門前ポケットパーク整備

○整備前

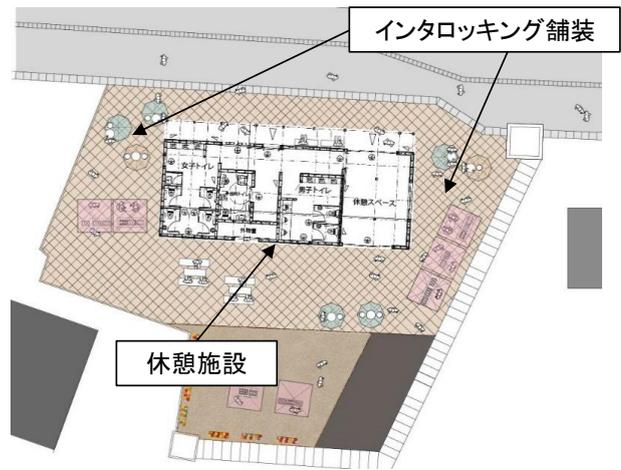


○整備後

- ・整備内容 ①小広場 492.98㎡ (内、インターロッキング舗装面積237㎡)
- ②休憩施設 104.34㎡ (休憩所、トイレ等)



完成写真



平面図

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	

蚕室群活用整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------------	---

事業期間 平成27年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業・社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)・古民家等観光資源化支援事業

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾場を歴史的資料や財産として保存するだけでなく、価値を高めるために蚕室を講演会や展示会等を開催する施設として年間を通じ活用し、良好な状態で保存されることで、文化的価値の継承につなげる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度に史跡内土地・建造物の確実な保存・伝承のために一部財産を取得した。平成29年度から2番蚕室では休憩所開設・飲食提供、鶴岡シルクの展示販売等の活用を進め誘客を図っている。平成30年度には、松ヶ岡開墾場の本質的価値と構成要素を明らかにし、それらを適切に保存管理しながら、各種活用整備の推進の方針として「史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画」を策定した。本計画に基づき日本遺産事業と連携しながら年間を通じた活用を推進している。令和2年度については、松ヶ岡4番蚕室を当地を発祥とする本市近代化の礎となった絹産業の文化を発信する体験施設に整備するため、躯体の部材調査、基本設計・実施設計を行った。また、HP「松ヶ岡クラフトパーク」を立ち上げ、各蚕室等での取組の発信を開始した。このほか、蚕室群に囲まれた環境を活かしたフィンガーペイント体験などを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等



史跡松ヶ岡開墾場大蚕室群の取得(H28.6)



国指定史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画(H31.3)



松ヶ岡開墾場4番蚕室
部材調査、基本設計、実施設計(6-3月)



松ヶ岡開墾場蚕室群での取組や過ごし方を発信するHP「松ヶ岡クラフトパーク」の立ち上げ(9月～)



松ヶ岡開墾場内での
フィンガーペイント体験(11/7)※再掲

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和2年度
項目	現在の状況	
シルクタウンプロジェクト推進事業 【全市域】	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和4年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 国内唯一の絹の地域内一貫生産がある地域において、絹産業や絹文化の歴史を発信することにより、文化的価値の継承につながり歴史的風致の維持向上が図られる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の近代化の礎となった絹産業の文化を保存継承しながら、新たな産業振興と絹文化の創造・発展を目指すため、産業面と文化面から振興策に取り組み、「ひとづくり…福栄地区における養蚕環境整備実証事業、養蚕プロジェクト」「ものづくり…kibiso等鶴岡シルク産業振興事業」「普及啓発…蚕飼育体験、シルクガールズプロジェクト支援、シルクで頑張る若者応援プロジェクト」を展開した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

シルクタウン・プロジェクトは事業開始から11年目を迎えた。幼保育園で蚕飼育を体験した高校生がシルクの研究活動を取り組むなど、新たなシルクを活用した地域振興が図られている。

状況を示す写真や資料等

〇ものづくり…キビソ等鶴岡シルクのブランド化・販売促進(鶴岡織物産地振興事業)

- ・産地高度化事業…他繊維産地や高度な技術連携による鶴岡シルク、kibiso商品の開発と松ヶ岡開墾場でのPR
- ・ブランド化事業…海外展開を視野に入れた商品開発、海外マーケティングや「侍絹」ブランド構築
- ・販売促進事業…海外での企画展示、首都圏・市内観光施設・温泉旅館での催事販売

〇ひとづくり…養蚕復興(養蚕環境整備実証事業)

- ・養蚕環境整備実証事業…閉校の校舎を活用した養蚕環境の整備と人工飼料等による蚕飼育の実証
- ・養蚕プロジェクト…繭自動選別機開発、ICTによる蚕室内モニタリング・温度管理等による養蚕作業効率化

〇普及啓発

- ・蚕飼育体験…市内幼・保育園、小・中学校に蚕飼育体験キット配布、2番蚕室での展示飼育
- ・シルクガールズプロジェクト支援…鶴岡中央高校生徒による鶴岡シルクを通して「地域を元気にする」活動(食べるシルク、魅せるシルク、伝えるシルク)を支援
- ・シルクで頑張る若者応援プロジェクト…シルクに関わる若者の創造性と活動を伸ばすため、市内高校等の生徒等市が「絹」をテーマとして取り組む課題研究へ支援。活動の成果等をシルクノチカラ2020(11/22 荘銀タクト鶴岡)で市民等にPR



kibiso・shop
(松ヶ岡開墾場2番蚕室)



蚕室での展示飼育



保育園等での養蚕体験



シルクノチカラ2020
高校生の課題研究発表



シルクノチカラ2020
シルクガールズコレクション

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
歴史まちづくり人材育成事業 【重点3地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和4年度

支援事業名 文化遺産を活かした地域活性化事業
社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 歴史的建造物の所有者・管理者、鶴岡市ガイドボランティア及び市民等を対象とした、文化財や歴史及び歴史的景観等とその活かし方等に関する学習機会を創出し実施する。
また、歴史的建造物の保全・活用推進を索引していく人材の発掘や育成、歴史的資源の利活用のマネジメントのための学習機会の創出等について関係者を交えた検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

【羽黒松ヶ岡地区】 松ヶ岡本陣留守居役配置、日本遺産インフォメーションセンター開設
・「本陣」では5人の地元ボランティアが「留守居役」として説明等に当たり、歴史的建造物の理解促進につとめた。(令和2年度来館者数/コロナ禍のため関係者予約のみ対応:約200人)。また、令和元年10月1日に開設した日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)では、来場者に対して松ヶ岡開墾場の案内と日本遺産「サムライゆかりのシルク」について紹介した(令和2年度来館者数2,679人)。
いずれもコロナ禍の影響により、来場者は減少したが、アフターコロナを見据えて、学習・研修の機会を設けている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【羽黒松ヶ岡地区】
本陣留守居役のガイド研修①



【羽黒松ヶ岡地区】
本陣留守居役のガイド研修②



【羽黒松ヶ岡地区】
日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)



【羽黒松ヶ岡地区】
日本遺産インフォメーションセンター(新徴屋敷)

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
城下町つるおかリブランディングプロジェクト推進事業 【鶴岡公園とその周辺地区、羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和元年度 ～ 令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松ヶ岡開墾150年(2021年)、酒井公入部400年(2022年)に向けて、各種調査、普及啓発を行うとともに、上質な街並みや景観などの空間整備、歴史的建造物の保存活用を関係団体等と連携して検討、整備する。また、これらを資源とする戦略的な観光誘客などを展開する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和元年度から、政策企画課、総務課、観光物産課、社会教育課、都市計画課で構成する城下町つるおかリブランディングプロジェクト事業庁内会議により、推進体制や関連事業について調整を重ね、令和2年3月18日、経済・文化振興・観光・教育・報道等、旧庄内藩領である庄内地域の2市3町、山形県並びに県関係機関が参画する酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を設立した。
令和2年度は同実行委員会で各専門部会(総務企画部会、観光部会、歴史文化部会、まちづくり部会)を立ち上げ、令和3年度から4年度までの全体事業計画、記念事業等について審議した。また、第2回実行委員会を開催し、記念事業の基本方針、キャッチフレーズ、令和3年度以降の取組等について承認を得た。記念事業の機運醸成等を目的とした公式ロゴマークを制作することとして、デザインを公募し、全国各地から181件のデザイン応募を受けた。有識者を交えた審査会によりデザイン3点を選定し、これらの中から、一般投票により採用作品を決定し、令和3年3月26日に表彰式を開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



第2回酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を開催(11/24)



専門部会ごとに定期的に協議を実施(写真は第3回総務企画部会12/23)



一般投票で決定した公式ロゴマークの表彰式を開催(3/26)

酒井家庄内入部400年記念事業

【キャッチフレーズ】

400年から学ぶ庄内(SHONAI) 未来へつなごう将来(SHORAI)

【基本方針】

庄内の歴史を知り、庄内の精神・価値を学び考え、持続可能な未来を創造します。



酒井家庄内入部400年

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成10年度～令和4年度
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容 「史跡松ヶ岡開墾場保存管理計画策定報告」に基づき、平成10年度から年次的に行っている蚕室等保存修理の継続と防災設備設置工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成10年度から史跡内建造物の保存修理工事を実施している。令和2年度は5番蚕室の三階屋根面に棟上導体式の避雷設備を新設した。三階屋根椼瓦葺の棟瓦に導体を取り付け、建物背面の隅2箇所から引き下げた。接地はボーリングステップ工法による。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じている。また、建物ごとに老朽化の進み方が一様でないことから、今年度は劣化の現状に合わせて計画を修正した。

状況を示す写真や資料等



5番蚕室屋根面(避雷設備設置完成)



5番蚕室正面(施工前)



5番蚕室背面(避雷導線引き下げ設置完成)



5番蚕室背面(施工前)



三階屋根足場架設



三階屋根避雷設備取り付け

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
史跡内及び周辺修景整備事業 【羽黒松ヶ岡地区】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和4年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 明治初期の景観への復元を前提として修景整備を行い、創建当時の開墾の歴史が感じられ、また、史跡を活用した催事により市民の関心の高まり、来訪者等の増加により、歴史的風致の維持向上が図られる。史跡中央を東西に通る道路については、明治初期の時代背景にあった構造とし、寸法や路盤の材料を検討し整備する。また、史跡内への車の進入を禁止するための副道や駐車場を整備する。史跡内の景観形成に有効な役割を果たしている桜や松等の立木について、樹木・樹種を選定し保存・整備する。歴史的景観に配慮した看板・誘導案内板、エリアの散策途中での休憩や各種催事のための多目的広場、トイレ等を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

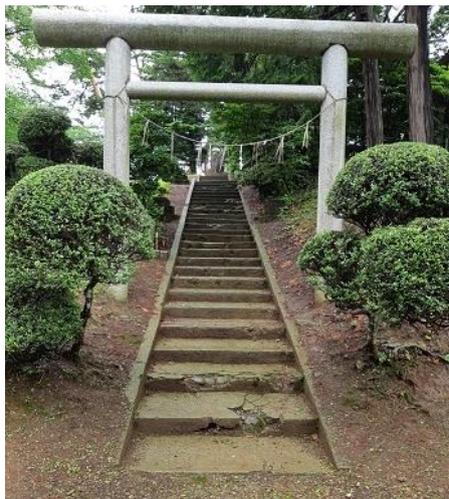
市は、認可地縁団体 松ヶ岡開墾場が行った蚕業稻荷神社の玉垣及び石段補修に対して、鶴岡市歴史的風致維持向上計画に基づき補助金を交付して支援を行った。

史跡松ヶ岡開墾場内に存する蚕業稻荷神社について、玉垣の石材が老朽化及び樹木の根上がりによって一部落下し、石段も全面的に大きな亀裂や欠損が生じて景観を著しく阻害していたため、修景整備の一環として保存修理を行った。事業の実施によって景観の維持向上と安全性の確保が図られた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



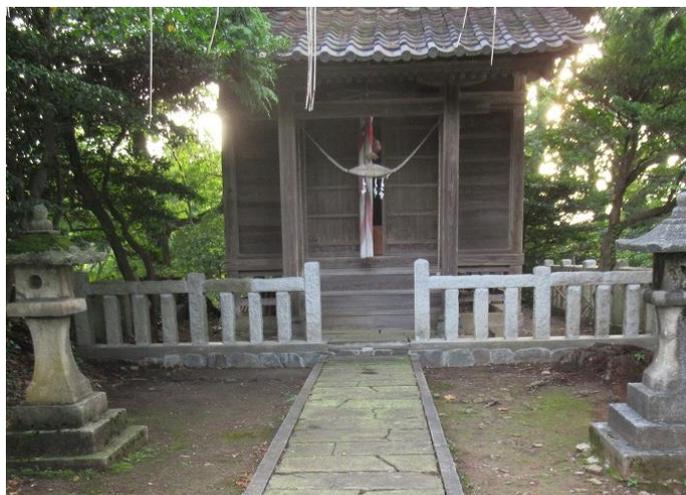
石段(施工前)



石段(完成)



玉垣(施工前)



玉垣(完成)

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和2年度
項目		現在の状況	
民俗芸能保存伝承支援事業 【全市域】		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成18年度～令和4年度		
支援事業名	市単独事業 山形ふるさと塾形成事業、(財)地域創造助成事業		
計画に記載している内容	無形民俗文化財民俗芸能に関する支援を実施する。 ・無形民俗文化財保存団体の活動助成及び継承に必要な衣装や道具の更新等に関する費用等の各種助成制度の情報提供など必要な支援を行う。 ・過去に作成した無形民俗文化財のアナログ記録映像のデジタル化と、未記録の無形民俗文化財について新たな記録保存を行う。 ・無形民俗文化財保存団体のネットワーク構築や発表機会創出等の検討及び開催支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・例年、保存継承活動のための補助金として、藤島伝統芸能振興協会、高寺八講保存会、町屋神楽保存会、黒川能保存会、山五十川古典芸能保存会、木野俣獅子踊り保存会、小国八幡宮弓射神事保存会に対し、補助金交付要綱に基づき補助対象経費の2分の1の額(上限額あり)を交付しており、今年度も交付した。 ・丸高文化財団は(株)丸高が地域文化の向上発展に寄与するため設立された財団で、伝統工芸の継承や伝統芸能の保存に尽力している団体等に資金援助している。市内の無形民俗文化財保存団体を対象に同財団の情報提供を行った(平成29年度は7件、平成30年度は1件、令和元年度は5件、令和2年度は2件、同財団に補助申請)。 ・『民俗芸能保存団体情報交換会』を開催し、各団体がそれぞれの規模でどのような悩みを抱えているか把握し、相互交流を通して活動の存続と発展のための機会とし協議会立上げについても意見交換を行った。 ・『鶴岡市民俗芸能交流発表会』を開催し、担い手のやりがいの場の創出を図り、また市民が地元の民俗芸能・継承活動を知るうえで貴重な機会となった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	将来的には市内民俗芸能団体同士が組織をつくり、発表会の開催等保存継承のための取り組みを自主的に実施できるように方向づけていく。		
状況を示す写真や資料等			
			
助成対象の「木野俣獅子踊り保存会」		助成対象の「山五十川古典芸能保存会」	
			
令和2年度 民俗芸能保存団体情報交換会 (令和2年7月25日 会場: 荘銀タクト鶴岡)		令和2年度 鶴岡市民俗芸能交流発表会 (令和2年12月6日 会場: 荘銀タクト鶴岡)	

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財調査、指定、保存管理(活用)計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・未指定文化財について、必要に応じ調査を行い、市指定や国の登録制度を活用することを検討するなどし保存継承に努める。
- ・埋蔵文化財包蔵地については、現状把握及び適切な保護措置に取り組む。また、未発見の埋蔵文化財の保護のため、民間事業者の開発行為の事前把握に努め、必要に応じて試掘等確認調査を行うなど、開発事業と文化財保護の整合に努める。
- ・鶴岡市文化財保護審議会により、文化財の保存及び活用について教育委員会の諮問に応じ調査研究を行うなどし意見具申を行う。
- ・保存活用計画の未策定文化財については、文化財としての価値を毀損することのないように適切な保存と活用について検討する。

定性的・定量的評価(自由記述)※定量的評価は可能な範囲で

- ・埋蔵文化財調査及び未指定文化財の現況調査を実施した。
- ・国指定史跡松ヶ岡開墾場については、毎月第1火曜日に事業所連絡会を開催し、11～15名の出席を得て市と関係者の意思疎通を図った。連絡会の開催を通じて事業者や地域の関係者の理解を得ることにより史跡内の保存活用計画を推進できた。
- ・名勝金峯山では保存活用計画を策定後、令和2年度は保存活用検討会を開催し、所有者及び有識者による活用計画の情報共有を図り整備内容の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

- 埋蔵文化財等文化財調査
 - ・現地踏査実施箇所 1ヶ所 法眼寺館跡
 - ・立会調査実施箇所 9ヶ所 「国史跡松ヶ岡開墾場」「鶴ヶ岡城跡」「山田遺跡」及び近接地 等
 - ・試掘調査実施箇所 4ヶ所 「山田遺跡」「鳥居上遺跡」「藤島城跡」「下旬長吏職屋敷跡」
 - ・埋蔵文化財包蔵地に係る各種事業照会(令和3年1月29日現在) 公共事業 12件、民間事業204件 合計216件
- 文化財指定
 - ・文化財保護審議会 2回開催(令和2年9月18日、令和3年3月16日)
 - ・出羽三山「生まれかわりの旅」推進協議会 総会(令和2年7月21日※書面決議)
 - ・鶴岡「サムライゆかりのシルク」推進協議会 総会(令和2年7月16日※書面決議)
- 計画策定等
 - ・第1回史跡松ヶ岡開墾場保存活用計画監理委員会(令和2年12月11日)
 - ・史跡松ヶ岡開墾場事業所連絡会(毎月第一火曜日開催)
 - ・名勝金峯山保存活用整備検討会(令和2年9月23日)



令和2年5月29日
鳥居上遺跡試掘調査



令和2年9月23日
名勝金峯山保存活用整備検討会



令和2年10月23日
専門家による調査(旧東田川郡役所及び郡会議事堂)

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の修理、周辺環境の整備、防災事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・文化財の修理について、所有者及び管理者等と連携し、適切な助言や必要な支援措置を検討し進める。
- ・指定文化財の保存修理にあたっては過去の調査記録などの成果を活用するとともに、有識者、専門家より意見聴取を行い、それらの知見を踏まえた総合的な整備を図る。
- ① 重要文化財旧鶴岡警察署庁舎保存修理事業
- ② 重要文化財羽黒山正善院黄金堂防災事業
- ③ 史跡松ヶ岡開墾場保存修理事業及び防災事業
- ・文化財の周辺環境は、関係規制、制度の積極的な活用により、文化財の価値や魅力が大きく損なわれないように注意しその保全を図る。また、重点区域においては歴史的風致の維持及び向上を図るための周辺道路の高質化・美装化や無電線化などの整備事業など文化財及びその周囲の景観や環境との調和を図る。
- ・文化財建造物について、所有者及び管理者と連携し自動火災報知設備及び消火器具等の設置を図り、所有者及び地域住民、消防署が一体となった防災訓練の実施に努める。
- ・文化財を展示公開している施設について、防犯に対処するために必要な措置を講ずるよう指導するとともに、常日頃からの防犯・防災への意識の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・史跡松ヶ岡開墾場の保存修理事業を実施した(5番蚕室避雷設備設置工事)。
 ・史跡内及び周辺修景整備事業として、認可地縁団体 松ヶ岡開墾場が行った蚕業稻荷神社の玉垣及び石段補修に対して、市は鶴岡市歴史的風致維持向上計画に基づき補助金を交付して支援を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松ヶ岡開墾場内建造物が建設されてから約150年が経過し、建物の老朽化が著しく、計画的な大規模修理が必要な状況となっているが、他事業との兼ね合いなど全体的なバランスを取る中で計画に遅れが生じてきている。計画の見直しを行いつつ確実な実施に向けて努力していく。

状況を示す写真や資料等

○史跡松ヶ岡開墾場 保存修理工事



5番蚕室避雷設備設置工事
(保護管コンクリート基礎工 作業中)



5番蚕室避雷設備設置工事(完成)

○史跡松ヶ岡開墾場 蚕業稻荷神社玉垣及び石段補修工事



蚕業稻荷神社玉垣及び石段補修工事(完成)
 (左)玉垣 正面左手 (中央)玉垣 正面右手 (右)石段

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度 現在の状況
文化財の普及・啓発、防災訓練、民間団体への助成・支援・協力		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・所有者及び管理者と市が連携をとりながら、文化財の保存に努めるとともに、鶴岡の歴史的風致の維持向上のために文化財の公開に努めるなど啓蒙普及を図る。また、特に重点区域においては、案内板整備及び説明板や解説資料の充実も図る。
- ・文化財の存在とその価値について広く理解を得るため、市と文化財所有者・管理者が連携して、文化財の公開に努め、気軽に親しむことができる機会の創出及び市広報やHPを活用し情報発信を行う。
- ・様々な文化財に関わる団体の活動により、近年は、歴史的文化の重要性の再認識やその保護・活用に対する市民の関心は高まりつつあることから、今後は一層、これらの団体への情報提供に努めるとともに相互に連携し、市民の文化財の保存・活用への意識高揚を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・市内の文化財を知る機会や守り伝えていく啓発事業として親子編及び大人編とし文化財めぐりを開催した。
- ・文化財の保存修理工事見学会を開催し、当時の建築技術等を市民の方へ伝える機会を創出した。
- ・民俗芸能交流発表会を開催し、地域に伝わる伝統芸能を広く市民の方へ周知する機会を創出した。
- ・研修・講演・会報の発行などに取り組んでいる文化財愛護協会の活動を支援することで、市民の文化財愛護思想の啓発を推進した。令和2年度は、協会の活動のひとつである、地域愛護会の看板設置(2団体)に補助した。
- ・文化財防火デーとし、防火訓練を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



R2.9.26 「文化財めぐり～親子編」(参加者親子10組 22名)
(善寶寺)



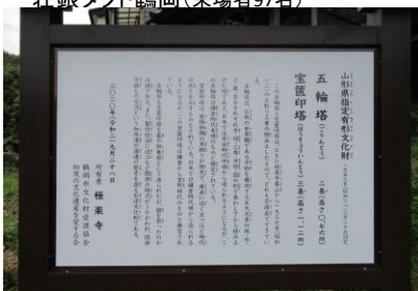
R2.10.4 「文化財探訪」(参加者15名)
(石名坂家)



R2.12.6 鶴岡市民俗芸能交流発表会
荘銀タクト鶴岡(来場者97名)



R2.7.19 金峯神社本殿保存修理工事見学会
(参加者43名)



鶴岡市文化財愛護協会補助事業
文化財説明看板



R3.1.26 文化財防火デー
羽黒山五重塔

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和2年度
庄内の桜 松ヶ岡開墾場	R2.4.21	荘内日報
100年ぶり”令和の大修理” 市民向け見学会 金峯神社本殿 屋根に酒井家寄進の証し内部公開	R2.7.22	荘内日報
整備の在り方と利用 多様な意見が上がる 鶴岡公園ワークショップ	R2.8.5	荘内日報
国重要文化財 金峯神社本殿100年ぶりの大修理 開山1350年にお披露目へ	R2.8.15	鶴岡タイムス
人の心の闇を払いコロナ終息願う「星祭」神事を再現 羽黒山・蜂子神社	R2.8.27	荘内日報
松ヶ岡産ワイン 楽しみ 醸造施設が完成、見学会	R2.9.5	山形新聞
山の恵みたっぷり 出羽三山の新しい魅力 山菜使った新ブランド開発	R2.10.18	荘内日報
ステージの喜びかみしめ 鶴岡・民俗芸能発表	R2.12.10	山形新聞
酒井家入部400年を前に 旧藩主家墓所	R2.12.10	荘内日報
酒井家入部400年を前に 先人の想い	R2.12.16	荘内日報
松ヶ岡開墾150年 絹産地として発達 庄内の近代化発展に大きな足跡 歴史と文化を次代へ継承	R3.1.1	荘内日報
疫病退散・五穀豊穡願う「松例祭」 山伏が松明手に疾走!!	R3.1.5	荘内日報
地元の財産 後世へ 文化財防火デーの訓練	R3.1.28	山形新聞
開墾150年の松ヶ岡守れ! 文化財防火デーに訓練	R3.1.28	荘内日報
国宝・羽黒山五重塔 雪下ろし	R3.1.31	荘内日報
鶴岡公園の環境整備 市役所側に多用途の広場 城郭の面影のある憩い空間に	R3.2.1	鶴岡タイムス
酒井家入部ブレ企画も 致道博物館21年度計画 多彩なジャンルの展示	R3.2.6	荘内日報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

本市の歴史的風致について広く報道されている。
新型コロナウイルス感染症の影響により各種イベントやシンポジウムなどの開催が見送られた経過もあるが、歴史ある歴史的風致建造物のほか、令和3年度に松ヶ岡開墾150年、令和4年度に酒井家庄内入部400年を迎えるに先立った取り組みに関する報道も行われており、歴史まちづくりに対する関心が喚起されていると考えられる。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等



鶴岡公園市民ワークショップ



鶴岡市民俗芸能交流発表会



文化財防火デー

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和2年度

項目

歴史的風致維持向上計画事業実施の効果

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【鶴岡市における外国人宿泊者数の推移】

外国人延べ宿泊者数については、計画認定を受けた平成25年は2,760人であったが、当該計画事業実施による歴史的風致の向上等魅力ある観光資源の構築が図られ、以後毎年増加傾向にあり、令和元年においては13,047人と4.7倍の増加となっている。

※平成29年(2017年)の数値は、前後の年度の実績と大きな乖離があるが、具体的な要因は観光庁でも不明。

【羽黒手向地区】

宿坊街の沿道空間は歴史的風致の保全に重要な景観形成要素であり、統一感のある修景整備を行うことで良好な景観が形成され歴史的風致の維持及び向上が図れている。

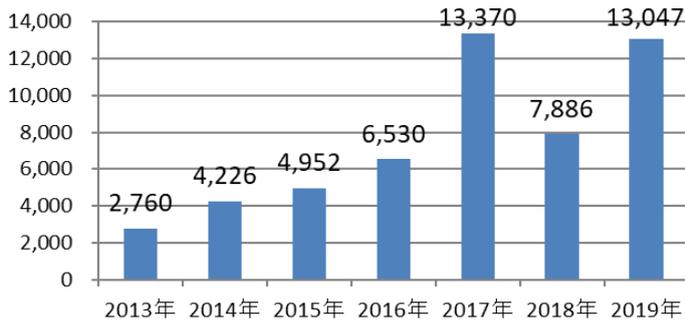
平成29年度から修景整備に取り組み、これまでに25件の整備が行われたが、道路に面する建物や土塁、生垣、植栽等の外構、宿坊街の佇まいを感じる特徴的な建造物の修景整備により、地域住民はもとより、手向地区に訪れる国内・外国人観光客にも、平成28年度に日本遺産に認定された出羽三山の構成要素でもある手向地区の歴史的風致が体感できる空間となっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

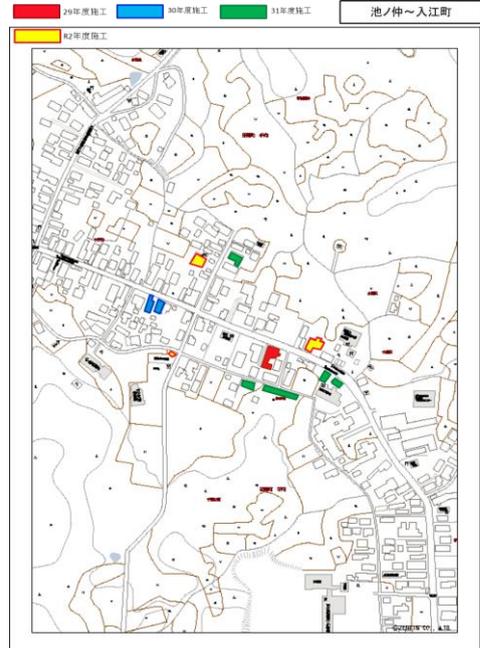
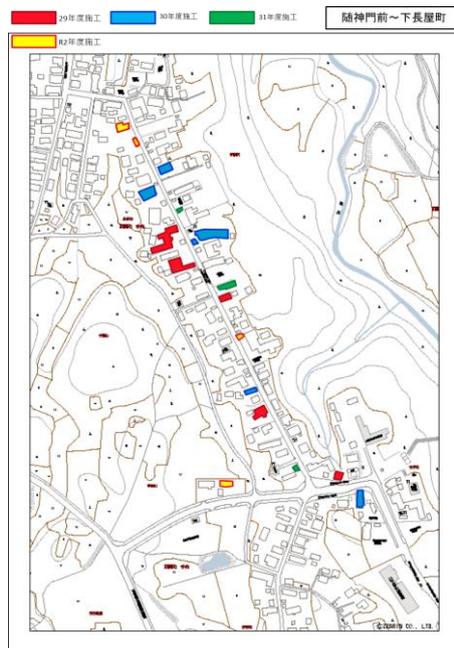
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



鶴岡市における外国人延べ宿泊者数の推移 (人泊)
※観光庁「宿泊旅行調査」より



【羽黒手向地区】
宿坊街まち並み保
全及び修景整備
促進事業

- 事業実績: 25件
- ・平成29年度: 6件
- ・平成30年度: 7件
- ・令和元年度: 6件
- ・令和2年度: 6件

評価軸⑥-2

その他

評価対象年度 令和2年度

項目

歴史的風致維持向上計画の説明、視察対応

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

市内の学生・町内会等への歴史景観づくりの説明、他自治体からの視察対応、歴史的風致維持向上計画関連会議・サミット等への参加と計画内容説明により、計画の周知を図っている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

R2. 11. 18 福島県河沼郡柳津町の視察対応
対象者：町議会議員5名、町担当職員1名 計6名

R2. 12. 8 東北地方整備局建政部の視察対応
対象者：東北地方整備局職員 4名

R2. 12. 17~18 長野県上田市の視察対応
対象者：上田市 文化財保護部局職員2名、都市計画部局職員2名 計4名

評価対象年度	令和2年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 鶴岡市歴史的風致維持向上計画推進協議会	
会議等の開催日時: 令和3年3月17日(水) 10:00~11:30	
(コメントの概要)	
<p>【会議結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業についての評価・報告、令和3年度事業計画の承認 ・鶴岡市歴史的風致維持向上計画の変更についての承認 <p>【主なコメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆大宝館(歴史的風致形成建造物)について <ul style="list-style-type: none"> ・建築様式を「擬洋風建築物」から「洋風建築物」に修正するということだが、その根拠の明確化と、表記の統一を行うべき。 ◆鶴岡公園正面広場整備事業について <ul style="list-style-type: none"> ・鶴岡公園は歴史的に非常に重要。鶴岡には様々な分野で専門家がたくさんいる。その専門家に意見をしっかりと伺って、歴史的に間違いのないように事業執行をしていただきたい。 ◆鶴岡公園内堀周辺道路修景事業について <ul style="list-style-type: none"> ・整備イメージでは、車道と歩道がはっきりと分けられているが、分けせずに、歩行者がゆったり歩ける環境の中を車が配慮しながら通行するのが、理想的な整備と考える。 ◆宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業について <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度以降も事業継続をお願いしたい。 ◆その他 <ul style="list-style-type: none"> ・「やまがた景観物語おすすめビューポイント」との連携を検討いただきたい。 ・「大黒様の御歳夜」の記載が、七日町観音堂にまつわる歴史的風致内に記載されているが、本来は山岳修験とも密接に関連しており、計画全体における記載に位置づけを見直すべき。 	
(今後の対応方針)	
<ul style="list-style-type: none"> ・大宝館の建築様式については、順次、「洋風建築物」の表記に統一していく予定。 ・鶴岡公園正面広場整備事業及び鶴岡公園内堀周辺道路修景事業については、十分な歴史的検証と専門家との連携を踏まえての事業執行に努める。 ・宿坊街まち並み保全及び修景整備促進事業については、令和3年度での事業終了とせず、令和4年度も継続することを検討する。 ・「やまがた景観物語おすすめビューポイント」との連携については、今後作成するパンフレットや案内冊子への記載、また、策定予定の2期計画への記載を検討する。 ・「大黒様の御歳夜」の記載の位置づけについては、2期計画策定の中で内容を検討する。 	